

それ、ごみではなく“資源”です

私たちがなげなく捨てているごみの中には、実は新しいものに生まれ変わる「資源」がたくさんあります。

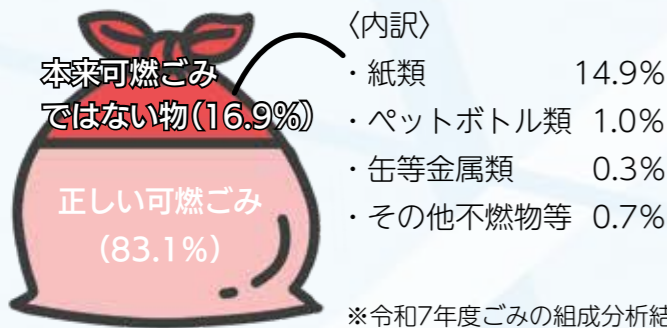
資源ごみを正しく分別し、ごみを減らすことは、処理費用(燃料費など)や二酸化炭素の削減、最終処分場の使用可能年数の増加などにつながるほか、貴重な収入源にもなります。

**ひと手間(洗う・分別)が
ごみを資源に変えます。**

市民1人が年間に捨てるごみの量
およそ**293**キログラム

このうち約16パーセントは、本来なら資源となる紙類やペットボトル類などでした。

可燃ごみの内訳



こらは資源です



令和7年度は
およそ**2,100万円**の収入に

！ルールを守りましょう

■茶色の一升瓶は
販売店へ



なぜ販売店で回収？

茶色の一升瓶は、洗って繰り返し使う「リユース瓶」です。そのため、ごみとして処理するのではなく、販売店で回収し、再利用されています。

ルールが守られていないごみに困っています

ごみステーションは地区で管理していません。ルールが守られず収集されないごみは、地区で対処しなくてはなりません。

暮らしやすい地域にするためにも、ごみを捨てる際のルールを今一度確認してください。

旭町1丁目 区長
北川 龍男 さん



※誤った分別のごみは収集できません。収集されなかったごみは出された方が責任を持ってご家庭にお持ち帰りください

ごみ減 → 資源増

ごみを減らし限りある資源を増やすアクションを日々の暮らしの中で、少しずつ実践してみましょう。

Rリユース(Reuse) / 繰り返し使う

●しょうだんれん「蚤の市」

まだ使えるけどもったいない物があればぜひ「蚤の市」をご利用ください

岡勝山市消費者センター
☎88-8103



開催日など
詳細はこちら▶

●0円ショップ今年も開催予定

- ①大型家具・自転車
開催時期：10月上旬
- ②子ども用品115 (いいこ)
開催時期：11月15日(日)

※詳細は決まり次第お知らせします

物を購入する前に

「捨てるもの」「リサイクルできるもの」かを考えて

ごみを正しく分別・捨てることは、火災を防ぐ・地域の負担を減らすなどみんなの安心につながります。

物を購入する際は、捨てるもの？リサイクルできるもの？を少し立ち止まって考えてみてください。



ステナイゴサウルス

ごみ分別に困ったら『勝山市公式LINE』が便利です

勝山市の公式LINEでは『ごみ分別の確認』『ごみ収集日の通知』といった便利な機能をご利用いただけます。

早見表はHPで確認できます▶



(左)公式LINEのメニュー画面
(右)LINE上での分類確認画面(例：フライパンの捨て方)

Rリデュース(Reduce) / ごみを削減

- 生ごみは「3きり」を実践
食材は「食べきり」「使いきり」を意識して、ごみとして出す時は「水きり」を徹底！
- 買い物はエコバッグを持参
- フードドライブ(*)で余った食品を寄付
* 家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている施設や団体に寄附する活動

Rリサイクル(Recycle) / 再資源化

- プラマークが付いているもので指定の38品目
※汚れが落ちない場合は可燃ごみ
プラスチック資源で回収できる38品目はこちら▶



Rリフューズ(Refuse) / 断る

- レジ袋を断る
- 使い捨てスプーンやフォークは受け取らない